

会 議 記 録

会 議 の 名 称	議会改革特別委員会
開 催 日 時	令和7年12月16日（火） 午前10時00分から午前12時13分
開 催 場 所	宮代町役場 議会室
出席委員の氏名	委員長 合川 泰治 副委員長 野原 洋子 委 員 丸山 妙子 福澤 和美 小島 あけみ 塚村 香織 川野 武志 議 長 田島 正徳
出席職員の名 職 ・ 氏 名	議会事務局長 押田 昭浩 主 幹 関根 雅治 主 任 金子 尚子
会議の公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
一部公開又は 非公開の理由	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否
傍聴者の人数	1名
会議資料の名称	次第
記録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
審 議 の 内 容	（１）主権者教育出前講座について 【決定事項】 （合川委員長） プログラムの内容について何かご意見ありますか。 （塚村委員） ・自分の意見にも価値があり、発言しても良い、という体験をしてもらおう。また、学校や身近な地域の困りごとなどの発表を行う。場所は各学校、講師は議員各2名程度で分担する。 （福澤委員） 作成されたデータを元に説明があった。 ・作戦会議する形をイメージしている。○×クイズ形式を取り入れてルールを共有し、15分経過後理想の町を発表してもらおう。 （小島委員） ・講座の開催は学校の都合にあわせたい。学年単位で行うのもよいと考える。自作のスライドを使って伝える。一方通行に

	<p>ならないようクイズを取り入れて意見交換をする。講師は3名、初めは中学生を対象にしたい。</p> <p>(野原委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが主役で当事者であるということを出前講座の目的に、話し合いをしたい。 ・中学生を対象に、講座の内容は議会が何をしているところなのかの説明などわかりやすく伝える。 <p>(丸山委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に身近な地方議会の話や、学校の生徒会が議会に繋がっていることを伝える。講師は3、4人の議会改革委員で行うのがよい。 <p>(合川委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の政治がどのように決定されるか、国と地方の選挙の違いを学習する。講師は各委員長、議長とし、対象は中学生を考える。 <p>(丸山委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務省のHPのデータを利用するのもよい。 <p>目的についての協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治のあり方（国や町のルール）を最終的に決定する力が国民（町民）にあるということ（国民こそが政治の主役）を理解する。 ・将来の有権者として、「社会は自分たちの声で変えていける」というきっかけづくり。 ・地方議会の仕組みの理解と主権者とは何かを認識してもらう。 ・町議会を身近に感じてもらうために関心をもってもらう。 ・地方議員の役割 ・自分たちが主役 ・投票率を上げる。 <p>【決定事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的は自らが主権者であること、最終的には投票に繋がるように講座を組み立てていく。 ・文言は次回の委員会までに考えを持ち寄って協議していく。 ・日時、場所は学校の希望に合わせて調整をしていく。 ・民主主義を体験するゲーム「デモポリー」を経験し、内容を検討する。 ・講師の人数はゲームを体験してから再考する。 <p>(2) 議会広報モニター制度について</p> <p>議会広報モニターについて</p> <p>(塚村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5名程度、18歳以上の町内在住、在勤、在学の方で応募は公募で行い、応募がなければ議員からの推薦とする。報酬はありがとう券2枚をお渡しする。連絡会を年2回、2時間程度とし、直接意見をもらう。
--	--

	<p>(福澤委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数は８～１０名程度、議会だよりの紙面を見てのアンケートを行ってもらふ。年２回連絡を開催する。 <p>(小島委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数は１０名程度、１８歳以上、無報酬、年２回議会だよりについて意見を聞く。 <p>(野原副委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数は８人、町内在住、在勤、在学。報酬はありがとう券を２枚、連絡会議を年２回行い、意見やアドバイスをもらう。 <p>(丸山委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数２０人、町内出身者になってもらいたい。募集方法は町公式ホームページ、任期は２年でも１年でも負担にならないように配慮したい。無報酬を考えている。議会だよりの発行に合わせてその都度ご意見をもらいたい。 <p>(川野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・１０人程度、１８歳以上、議会が行う広報・公聴活動に深い関心を持っている方、任期２年間で年間３千円以内、開催は議会だよりの発行後年４回実施とする。 <p>(合川委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・５人程度、募集は公募、任期は２年、開催は年２回（６月、１２月） <p>(塚村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡会を土日に行うのはどうか。平日だけだと意見に偏りが出てきてしまう。 <p>【決定事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターの方には、完成した議会だよりについて意見、アドバイスをもらうことを主とする。連絡会の参加は、任意とする。 ・モニターの内容について各自検討してきてもらい次回協議する。 <p>(３) その他 なし</p>
その他必要事項	